

ひょうご 男女共同参画ニュース



11/11

ひょうご仕事と生活センター 5周年記念フェスタ 勘違い経営からの脱皮～人材の確保と定着を目指す～

「ひょうご仕事と生活センター5周年記念フェスタ」が兵庫県公館で開催されました。

初めに、金澤副知事が、「ワーク・ライフ・バランスに取り組むことは、それぞれの県民の生活、介護、子育て、そして日本全体のあり方としても必要なものとなっている。今日を契機にさらに取組を進めていただきたい。」と期待の言葉を述べた後、「仕事と生活のバランス」の実現のために先進的に取り組んでいる企業等10団体の表彰が行われました。

先進的な取組を進めている地元企業が参加して行われたトークセッションでは、「管理職は、残業ができる人という考えもあり、女性社員の過半数が管理職を目指していない現状。今後は、会社全体で効率的な働き方を目指していきたい。」
「制度は整っているが、育児休業以外の制度につ

いて知らない社員が多い。制度を知ってもらうために、それぞれのライフステージに合わせてアナウンスしている。」など、各社が取り組む業務改善策等の発表があり、同センターの北尾真理子上席相談員からは「管理職と社員が日ごろから何でも話し合えるような風通しの良い職場環境づくりが大切。」といった話がありました。

後半では、吉越浩一郎さんによる特別講演(3面で詳しく紹介)が行われ、盛大なフェスタとなりました。



受賞団体

- ・医療法人社団医仁会譜久山病院
- ・株式会社栄水化学
- ・川崎重工業株式会社
- ・昭和精機株式会社
- ・株式会社 TAT
- ・富士通周辺機株式会社
- ・株式会社松田ポンプ製作所
- ・ムネ製薬株式会社
- ・メック株式会社
- ・株式会社ヤマシタワークス

(問) 県男女家庭課 078-362-3160

内閣府世論調査

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」44.6%

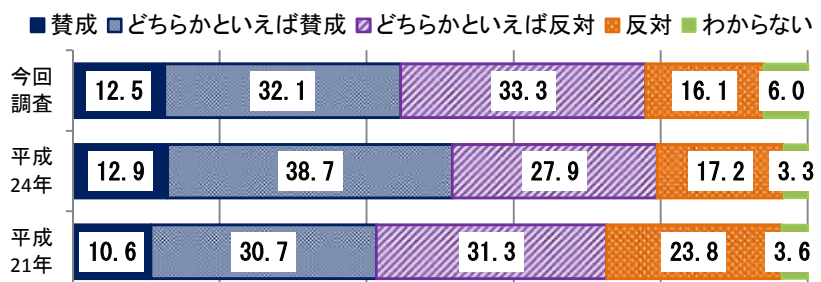
内閣府の世論調査で、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」と考える人が、前回(H24)調査より7ポイント減ったことが明らかになりました。

平成26年8月に実施した「女性の活躍推進に関する世論調査」によると、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」との考えに賛成する人が44.6%と、平成24年の調査と賛否が逆転。

反対する理由は、「固定的な夫と妻の役割分担の意識を押し付けるべきではない(48.5%)」「妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思う(42.6%)」「夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思う(42.3%)」などが多く、賛成する理由では、

「妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思う(59.4%)」が最も多く、次に「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思う(37.3%)」「夫が外で働いた方が、多くの収入が得られると思う(27.0%)」となっています。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」



(問) 県男女家庭課 078-362-3160



阪神・淡路大震災 20 年事業 ひょうご女性フォーラム「防災・減災、復興に女性の力を」

阪神・淡路大震災から20年を迎えるにあたり、震災の経験と教訓を伝えていくため、様々な分野で活躍する女性たちのネットワーク「ひょうご女性未来会議」と、兵庫県、ひょうご安全の日推進県民会議が協働してフォーラムを11月2日(日)に開催しました。

第1部は、内閣府男女共同参画局の武川恵子局長による講演と、県立男女共同参画センターにおける取組、但馬及び尼崎での地域フォーラムの活動報告が行われました。

第2部では、被災者支援等に携わってきたパ



ネリストたちが、女性の力をどのように防災・減災対策や復興計画等に活かしていくかについて議論。平時からのネットワークづくり、女性相談員の育成、女性リーダーが活躍できるような地域の組織を変えていくことが必要といった意見や、若者が楽しんで参画できる防災活動、住民参加によるマニュアルづくりなど、各世代が互いに語り合い、力を持ち寄って未来の安全をつくるための提言が出されました。



また、会場ロビーでは、但馬フォーラムで作成した防災・減災絵本『約束のあした』の展示や、「絆プロジェクト作品展」、「兵庫と東北つながっ展」を併催。これらの開催結果は今後、国内外に広く発信される予定です。

ひょうご女性未来・縹賞授賞式

次世代を担う女性の活躍を讃える「第12回ひょうご女性未来・縹賞」の授賞式が、「ひょうご女性フォーラム」冒頭に行われ、ひょうご女性未来会議の清原桂子代表から表彰状が、金澤和夫副知事、高土薫神戸新聞社社長から副賞とお祝いの言葉が贈られました。

受賞者は、地元の生産者と協働して食材にこだわった食事や菓子作りに取り組む高橋陽子さん(神戸市)、作品を通じて被災者の思いを伝える活動を続ける“なまえアーティスト”たみのともみさん(神戸市)、若手NPOスタッフのリーダーとして人材育成などに携わってきた飛田敦子さん

(神戸市)の3名で、「多くの人の理解や支えがあった。賞に恥じないよう今後も努力していきたい。」などと喜びを語りました。



(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550

11/18

在宅ワークチャレンジ基礎セミナー

在宅ワークの働き方と心構えを学ぶセミナーを開催。講師の斎藤晴美さん(中小企業診断士)が仕事の種類や流れ、契約、トラブル対策に加え、最新の動向についても詳しく解説しました。

受発注の仕組みが大きく変化しつつあるなか、インターネットを介した新しい仕組み「クラウドソーシング」を取り上げ、「様々な種類のたくさんの仕事が出ている。まずは登録して、自分にあった仕事を見つけるとよい。」という講師の経験を交えた説明に、多くの参加者がメモをとり熱心

に聴き入っていました。

参加者からは、「仕事の流れや注意点がよくわかった。」「インターネットで在宅ワークを探せることを知り、さっそく試してみようと思う。」などといった感想が寄せられました。



(問) 県立男女共同参画センター 078-360-8550



イーブン事業報告

女性のための心理講座

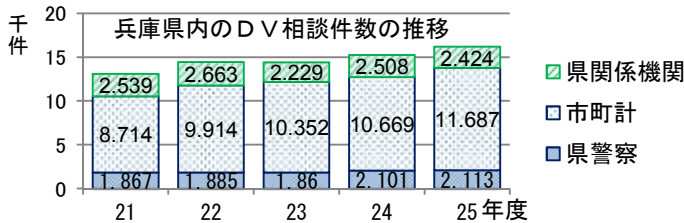
11/19

「DVガイダンス～パートナーから暴力を受けるってどういうこと？DVIについて学ぼう～」

DVに悩む女性を対象に、DVについての情報を提供する講座を開催しました。

講師のイーブン女性問題カウンセラーは「DVは身体的暴力だけでなく、心理的・経済的・性的暴力、社会的な圧迫、子どもを利用した暴力なども含み、これらの暴力を使ってパートナーを自分の思い通りにしようとする支配行動です。」と解説。「被害の影響から回復するには、暴力を受ける前の自分を思い出し、自分のことを好きになり、自信を持つこと。カウンセリングを行うことによって、自分を取り戻すお手伝いをします。」と伝えました。

県内のDV相談件数は年々増加しており、特に市町での増加が顕著です。身近な窓口での相談体制が充実してきたことなどが考えられます。



(問) 県立男女共同参画センター078-360-8550



県内市町・地域・企業の取り組み

男女共同参画推進員地域ブロック事業

神戸 11/22 女性のさらなる政治参加

神戸地域男女共同参画推進員連絡会議が、女性の政治参画について考える講座を実施しました。

第1部は、国会議員秘書を歴任している安里仁一郎さんが「議会で女性の声が反映されるには」をテーマに講演。「女性議員を増やすには、まず市町村議会議員を増やすことが必要。ある程度の時限を決めてクォータ(割り当て)制にするのもよい方法。」などと話しました。

第2部のテーブルトークでは、「男性優位のこのままの政治でいいのか」「女性の政治参加を妨げているものは」など6テーマに分かれて白熱した議論が行われ、「若い人たちにもっと政治参加の教育をするべき。」「市民にとって身近な人が議員になれば。」などの意見が出されました。



(問) 県立男女共同参画センター078-360-8550

三田市
10/25、
11/8、22

思春期の子どもを守りたい！ ～デートDVとサイバー犯罪

三田市は、思春期の子どもを様々な犯罪・暴力から守りたいと考える方を対象に、デートDVとサイバー犯罪の講座を3回連続で開催しました。

1回目はスマホやゲーム機などネット利用の低年齢化に伴い、増加する犯罪の手口について、2回目は若者間のデートDVや性暴力が発生する原因やその背景について、統計資料をもとに講師と一緒に考え、学びました。3回目は今、自分たちができる啓発活動や対応について話し合い、起因となるジェンダー問題について討論をしました。

思春期の子どもを守るために、子どもや家族、友人に対して、どう接していけばいいか、若者たちの考えはどうか、といった悩みを持つ人が多く、毎回講師への質問が相次ぎ、積極的な意見交換も行われました。市内での新しい啓発活動への第一歩となる有意義な講座でした。



(問) 三田市人権・男女共同参画プラザ 079-559-5163

◆残業ゼロを実現する◆

(1面「ひょうご仕事と生活センター5周年記念フェスタ」関連記事)
～ワーク・ライフ・バランスと働き方の見直し～

5周年記念フェスタの中で行われた特別講演では、吉越浩一郎さん(吉越事務所代表)をお迎えし、トリンプ・インターナショナル・ジャパン社長時代に取り組んだ「残業ゼロを実現する」をテーマに講演が行われました。



「全ての案件に『誰が、何を、いつまでに』という仕事のデッドライン(締切)を設定し、必ず時間内に仕事を片付ける習慣を徹底させることが仕事の効率につながる。」「担当に場と責任を任せ、人事・給与情報以外、全ての情報の共有を図ることで、担当が情報を基に自分で学び、成長につながる。」「『がんばるタイム』(*)の設定で、能力を十分に発揮できる環境となり、会社全体の生産性も向上する。」「ワーク・ライフ・バランスは、会社が作るものではなく自分で作っていくもの。」など、ご自身の経験や今まで実践されてきた取組事例を交えながら、お話しいただきました。

「何事も最後まであきらめずに取組を続けることが成功につながる。」と熱弁し、会場の参加者は熱心に聞き入っていました。

*「がんばるタイム」・・・誰とも話さず、席を立つことを禁止する時間をつくること。

(問) 県男女家庭課 078-362-3160



参加者募集中の講座・お知らせ

★ネットショップオーナーをめざそう！ ～イチから始めるネットショップ 開業セミナー～★

ネットショップ立ち上げに向けた基礎知識や心構えを学ぶとともに、シミュレーションを通じて売れるショップづくりには何が必要かを考えるセミナーを開催します。

◆日時・内容

(1日目) 12月12日(金) 13:30～15:30
ネットショップを開業しよう

(2日目) 12月19日(金) 13:30～15:30
売れるネットショップをつくろう

◆会場 県立男女共同参画センター セミナー室

◆講師 宇田 名保美さん(中小企業診断士、1級販売士、宇田マネジメント株式会社代表)

◆対象 ネットショップをこれから始めようと考えている方、開始して間もない方等

◆定員 20名(先着順)

◆受講料 無料

◆一時保育 1歳半から就学前まで(無料・要事前予約 各日6名まで)

◆申込方法 所定の申込書に必要事項を記入の上、FAX・郵送または持参でセンター宛

★女性のための働き方セミナー

「産休・育休ママの職場復帰応援講座」★

職場復帰の時期が近づき、仕事と育児の両立やこれからの働き方などに不安や悩みを持つ方を対象とした講座です。

講師からのアドバイスや同じ仲間との情報交換を通して、働き続けるためのヒントを見つけましょう！

◆日時 (1) 12月19日(金) 10:30～12:00
(2) 1月13日(火) 10:30～12:00

◆テーマ・講師

(1) テーマ：働くママのタイムマネジメント
講師：森本 紀子さん(キャリアコンサルタント)

(2) テーマ：私らしい仕事と子育て
講師：萩原 紫津子さん(キャリアコンサルタント)

◆会場 県立男女共同参画センター セミナー室

◆対象 産休・育休中の女性、将来的に育休を取得して働き続けたいと考えている女性

◆定員 各日10名(先着順)

◆受講料 無料

◆一時保育 1歳半から就学前まで(無料・要事前予約 各日6名まで)

※1歳未満のお子さんは、抱っこやベビーカーで同席して参加いただけます

◆申込方法 所定の申込書に必要事項を記入の上、FAX・郵送または持参でセンター宛

※講座の詳細は、下記までお問い合わせください。



兵庫県立男女共同参画センター・イーブンの相談窓口



種類	電話番号		実施日時	
女性のためのなやみ相談 (女性カウンセラー)	電話相談(直通)	078-360-8551	月～土曜日	9:30～12:00 13:00～16:30
	面接相談(要予約)	078-360-8554	月～金曜日 土曜日	11:00～18:40 9:20～16:50
法律相談(女性弁護士)	面接相談のみ ※なやみ相談(面接)後に予約		毎月 第2火曜日(原則)	
男性のための相談(男性臨床心理士)	電話相談	078-360-8553	毎月第1・3火曜日	17:00～19:00
不妊専門総合相談(助産師等)	電話相談(直通)	078-360-1388	毎月第1・3土曜日	10:00～16:00
	面接相談(要予約)	078-362-3250	毎月第2土曜日・第4水曜日	14:00～17:00
女性のためのチャレンジ相談 (女性社会保険労務士等)	電話相談・面接相談 (電話・面接とも要予約)	078-360-8554	毎月第1～4木曜日	10:00～13:00
イーブン女性就業相談室 ハローワーク相談窓口	問い合わせ先 (電話相談不可)	078-360-8260	月～金曜日	9:00～17:00
情報相談(情報アドバイザー) (学習や調べものなどのご相談に)	電話相談(直通)	078-360-8557	月～土曜日	9:00～17:00

ひょうご男女共同参画ニュース

平成26(2014)年12月号(Vol. 45) ※毎月1日発行

【編集・発行】 兵庫県立男女共同参画センター・イーブン、兵庫県男女家庭課

【問い合わせ】 〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー7階 兵庫県立男女共同参画センター
TEL:078-360-8550 FAX:078-360-8558

【開館時間】 月～金曜日 9:00～19:00/土曜日 9:00～17:00 HP: <http://www.hyogo-even.jp/>

【休館日】 日曜日、祝日、国民の休日、年末年始(12/28～1/4)

このニュースは、関係機関・団体や希望者に配信させていただくとともに、男女共同参画推進員がお配りさせていただいています。配信を希望される方は、上記にご連絡ください。